

# 1 利益を生み出す仕組み

## 1 費用分解により見えてくる収益性

### (1)費用を固定費と変動費に分解する必要性

企業活動を行う上で不可欠な費用は、固定費と変動費に分けることができます。決算書では、費用を固定費・変動費に分ける必要はありませんが、収益性を見極め、利益をコントロールするための「損益分岐点分析」では、全ての費用を「固定費」と「変動費」に分解する必要があります。

利益をコントロールするには、損益分岐点を算出し、「利益を得るためどれだけの売上高が必要であるか」をシミュレーションする必要があります。損益分岐点計算を用いると、売上高の増減により利益がどう変わるか、同じ売上高で利益率を上げるにはどの程度コストを抑えればよいか、ということも確認できるのです。

#### ①固定費

固定費とは、売上に関わらず一定額かかる費用のことです。次のようなものが、固定費に分類されます。

##### ■固定費に分類される費用

- |        |         |    |
|--------|---------|----|
| ●人件費   | ●不動産賃借料 |    |
| ●水道光熱費 | ●通信費    |    |
| ●減価償却費 | ●旅費交通費  |    |
| ●接待交際費 | ●支払利息   | など |

#### ②変動費

変動費とは、事業活動に必要な原材料などの原価に相当するもので、売上の増減によって変わる費用のことです。次のようなものが変動費に分類されます。

##### ■変動費に分類される費用

- |        |       |    |
|--------|-------|----|
| ●売上原価費 | ●仕入原価 |    |
| ●材料費   | ●外注費  |    |
| ●支払運賃  | ●配送費  |    |
| ●保管料   |       | など |